

我が国を救う！日本のお家芸・製造業のまち延岡市スーパーシティ構想

延岡市がスーパーシティに
選ばれるべき

3つの理由

1 point テストベッド適性

人口構成や地理的状況、産業構造等が「日本の縮図」。テストベッドに適したまち。

2 point 卓越した市民力

2009年の県立延岡病院の医師の大量退職による「地域医療の崩壊」を市民が健康づくり活動やコンビニ受診抑制により克服、医療費や介護認定率を削減。

3 point 理系のまち

「日本の化学産業発祥の地」故に市民のテクノロジーに対する受容力が高い。既に多くの企業・大学・研究機関等と最先端の実証事業を積み重ねており、政府も「スマートシティ」に選定済み

都会との
教育格差解消
(単身赴任ゼロ)

南海トラフ等に備えた
「逃げ遅れゼロ」

救急救命率の
向上

脱炭素型
公共交通システム
確立

健康寿命
100歳

教育

延岡市だからこそ出来る 世界一の教育を実現

優れた教育で都会との格差をなくす

- ・「論理コミュニケーション」「英語ディスカッション」「データサイエンス」の3教科を市独自に特設、その分他の教科の時間をAI等で2割程度短縮。
- ・国内外の外部人材（延べ100名程度）に対し、市教委が特別教員免許を発行し、同時双方向遠隔授業を実施。
- ・市が独自に設立する「延岡子ども未来創造機構」によるノーベル賞やトップアスリートを生んだまちならではの「人間力」教育。

防災

「被災状況シミュレーター」 による訓練及び避難情報提供

「逃げ遅れゼロ」を実現・
海外にビジネスモデルを提示

- ・行動パターン分析を活用し「被災状況シミュレーター」を構築。平常時は防災訓練に、非常時は避難情報提供や要支援者サポートに活用。
- ・「空飛ぶクルマ」による救急救命率の向上、南海トラフ巨大地震等における医療・救援物資等の輸送。
- ・空き家を災害拠点（仮設住宅、ボランティア用住宅など）として活用。

交通

行動パターン分析で 脱炭素・マイカー卒業社会

市民行動データに基づく
公共交通等の最適化

- ・東京大学の行動パターン分析に基づき各種交通サービス（学校・施設等の送迎バスや市公用車等も含め）の最適な組合せを実現。
- ・ダイナミックプライシング（需給に応じた可変的料金）の導入。
- ・「空飛ぶクルマ」により「陸の孤島」解消。

医療

子どもからお年寄りまで 心身の健康を守る

バイタル・検診データの
活用による早期対応

- ・センサーやミリ波レーダーを使い、家電等が子どもの「心の声」をキャッチ、いじめや不登校に早期対応、予防医療を実現。
- ・学校保健データと大人になってからの各種健診データを組み合わせ、生活習慣病や認知症等の発症リスクを把握し、早期治療実施。